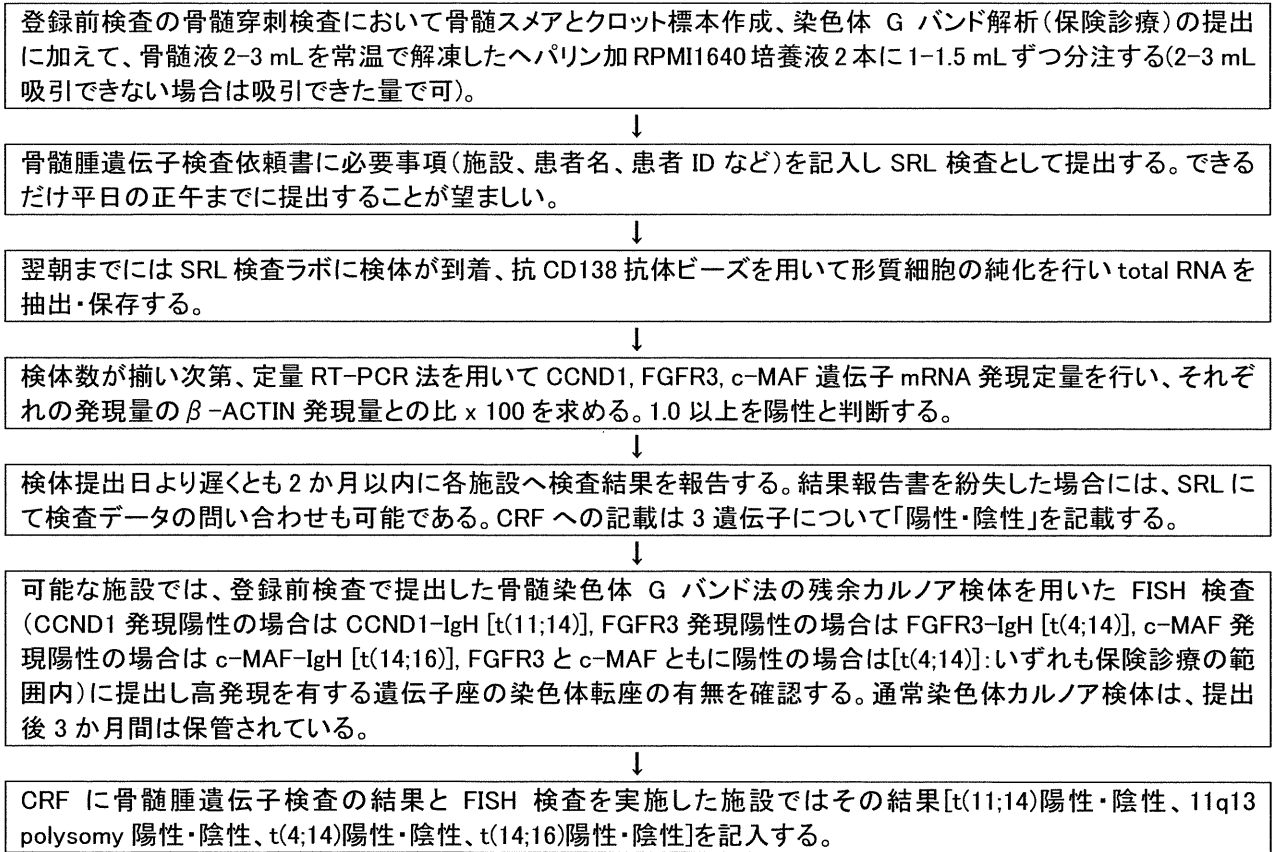
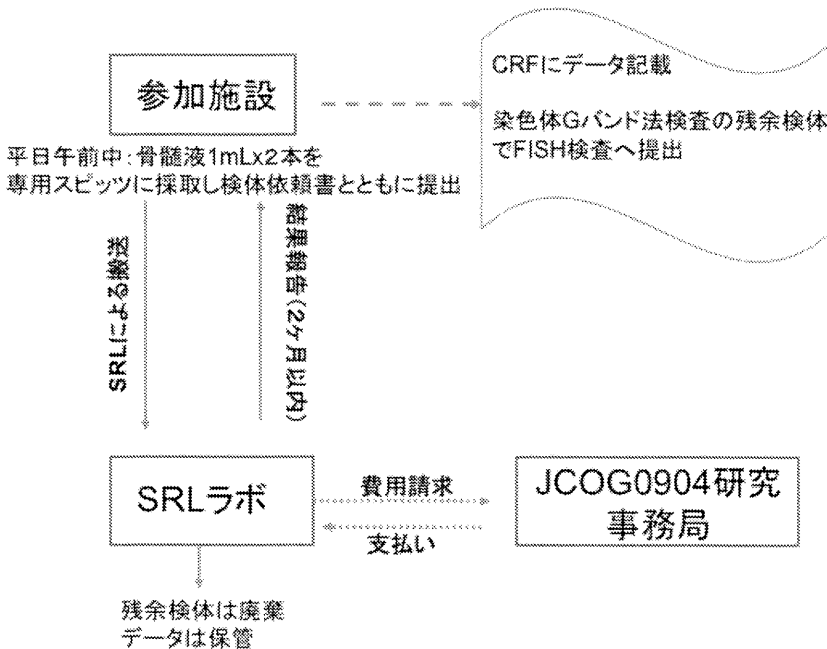


「多発性骨髄腫遺伝子解析」検査(染色体転座関連遺伝子発現定量検査)の実際と提出手順



骨髄腫遺伝子検査の検体提出・報告手順スキーム



研究参加施設(JCOG リンパ腫グループのうち本研究に全 45 施設が参加予定)

参加施設一覧は JCOG ホームページ(<http://www.jcog.jp/>)で確認可能

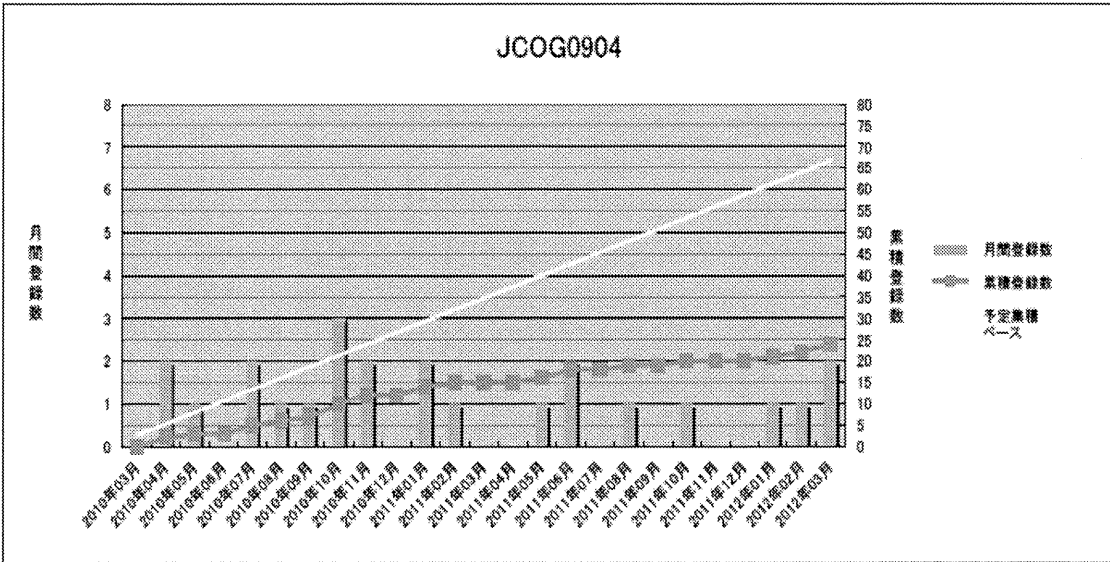
● を記した施設は、ver2.0 改正プロトコールの施設 IRB 承認済み(2012 年 3 月 31 日時点)

○を記した施設は、施設 IRB 未承認施設

	医療機関名	科名(施設名)	研究責任者	コーディネーター	登録患者数
●	国立病院機構北海道がんセンター	血液内科	黒澤 光俊	三上 祥博	0
●	札幌北楡病院	血液内科	中田 匡信	中田 匡信	0
●	東北大学病院	血液・免疫科	張替 秀郎	石澤 賢一	0
●	秋田大学医学部	第 3 内科	澤田 賢一	亀岡 吉弘	0
●	太田西ノ内病院	血液疾患センター	松田 信	斉藤 由理恵	0
●	群馬大学医学部附属病院	第 3 内科	塚本 憲史	横濱 章彦	1
	埼玉県立がんセンター	血液科	小林 康文	久保田 靖子	
●	国立がん研究センター東病院	化学療法科	伊藤 國明	伊藤 國明	0
●	千葉県がんセンター	腫瘍血液内科	熊谷 匡也	辻村 秀樹	0
●	国立がん研究センター中央病院	内科	飛内 賢正	小林 幸夫	5
●	杏林大学医学部	第 2 内科	高山 信之	高山 信之	0
●	東京医科大学病院	第 1 内科	大屋敷 一馬	後藤 明彦	0
	がん・感染症センター都立駒込病院	化学療法科	前田 義治	岡元 るみ子	
●	東京慈恵会医科大学附属病院	腫瘍・血液内科	矢萩 裕一	齋藤 健	0
●	東京慈恵会医科大学第三病院	腫瘍・血液内科	薄井 紀子	土橋 史明	0
●	癌研究会有明病院	血液腫瘍科	畠 清彦	横山 雅大	0
●	NTT 東日本関東病院	血液内科	臼杵 憲祐	半下石 明	0
●	東海大学医学部	血液腫瘍科	安藤 潔	植田 いずみ	0
○	新潟県立がんセンター新潟病院	内科	張 高明	張 高明	0
●	金沢医科大学	血液リウマチ・膠原病科/ 血液免疫制御学	正木 康史	正木 康史	0
●	福井大学医学部附属病院	血液・腫瘍内科	上田 孝典	岸 慎治	0
●	浜松医科大学	腫瘍センター	大西 一功	大西 一功	0
●	愛知県がんセンター中央病院	血液細胞療法部	木下 朝博	山本 一仁	1
●	国立病院機構名古屋医療センター	血液内科	永井 宏和	永井 宏和	1
●	名古屋大学医学部	血液内科	富田 章裕	徳永 隆之	1
●	名古屋市立大学病院	血液・膠原病内科	飯田 真介	楠本 茂	13
●	名古屋第二赤十字病院	血液・腫瘍内科	小椋 美知則	内田 俊樹	0
●	愛知医科大学附属病院	血液内科	仁田 正和	花村 一朗	0
●	三重大学医学部	血液内科	山口 素子	宮崎 香奈	0
●	滋賀県立成人病センター	血液・腫瘍科	鈴木 孝世	内海 貴彦	0
●	京都府立医科大学	血液内科	谷脇 雅史	黒田 純也	0
●	兵庫県立がんセンター	血液内科	村山 徹	五明 広志	0
●	国立病院機構四国がんセンター	血液腫瘍科	吉田 功	吉田 功	0
●	愛媛大学医学部附属病院	第 1 内科	安川 正貴	薬師神 芳洋	0
●	国立病院機構九州がんセンター	血液内科	鶴池 直邦	末廣 陽子	0

●	福岡大学医学部	腫瘍・血液・感染症内科	田村 和夫	高松 泰	0
●	国立病院機構九州医療センター	血液内科	岡村 精一	原田 直樹	0
●	産業医科大学	化学療法科	塚田 順一	森本 浩章	0
●	佐賀大学医学部	血液・呼吸器・腫瘍内科	木村 晋也	福島 伯泰	0
●	国立病院機構長崎医療センター	血液内科	吉田 真一郎	吉田 真一郎	0
●	佐世保市立総合病院	内科	森内 幸美	森内 幸美	0
●	長崎大学病院	原研内科	塚崎 邦弘	福島 卓也	0
●	熊本大学医学部	血液内科	畑 裕之	野坂 生郷	1
●	国立病院機構熊本医療センター	内科	日高 道弘	井上 佳子	0
●	大分県立病院	血液内科	佐分利 能生	大塚 英一	0
●	鹿児島大学医学部・歯学部附属病院	血液・膠原病内科	魚住 公治	魚住 公治	0
●	今村病院分院	内科	宇都宮 與	宇都宮 與	1

JCOG0904



## II. 研究成果の刊行一覧

書籍

2009年

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
飯田真介	第4部 多発性骨髄腫 5.2. 国際骨髄腫作業部会統一効果判定規準(International Myeloma Working Group uniform response criteria; IMWG)の効果判定規準	日本血液学会/日本リンパ網内系学会	造血器腫瘍取り扱い規約 2010年3月第一版	金原出版	東京	2010	192-196
稲垣淳 飯田真介	リンパ系腫瘍 9. 形質細胞腫瘍 9b. 形質細胞骨髄腫;多発性骨髄腫	直江知樹 朝長万左男 中村栄男 飯田真介 大島孝一 木下朝博 吉野正	WHO血液腫瘍分類~WHO分類2008をうまく活用するために~	医薬ジャーナル社	東京・大阪	2010	310-322
飯田真介	II. Principles of Oncology 16. 抗がん薬 8)その他の抗がん薬	日本臨床腫瘍学会	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2009	333-337
飯田真介	IV. 多発性骨髄腫と関連疾患 8. 染色体異常による層別化治療は可能か?	金倉讓 木崎昌弘 鈴木律朗 神田善伸	EBM血液疾患の治療	中外医学社	東京	2009	423-427
矢野寛樹 飯田真介	II. 各論 13. 造血器B 多発性骨髄腫multiple myeloma	日本臨床腫瘍学会	入門腫瘍内科学	篠原出版	東京	2009	229-232
矢野寛樹 飯田真介	VII. 多発性骨髄腫	直江知樹	現場で役立つ血液腫瘍治療プロトコール集	医薬ジャーナル社	東京・大阪	2009	153-165
矢野寛樹 飯田真介	5章. 造血器腫瘍の治療 多発性骨髄腫の適切な初期治療は? (新規治療薬の位置づけを含めて)	神田善伸	臨床に直結する血液疾患診療のエビデンス	文光堂	東京	2009	303-308

飯田真介 上田龍三	6-d 多発性骨髄腫/形質細胞性白血病/マクログロブリン血症	阿部達生	造血器腫瘍アトラス改訂第4版 形態、免疫、染色体と遺伝子	日本医事新報社	東京	2009	314-325
上田龍三 飯田真介	第7章 血液・造血器疾患 骨髄腫と類縁疾患	高久史麿	新臨床内科学 第9版	医学書院	東京	2009	922-930
島田和之 木下朝博	リンパ球系 血管内大細胞型 B 細胞リンパ腫の治療	高久史麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉讓 小島勢二	Annual Review 血液 2010	中外医学社	東京	2010	119-123
木下朝博	低悪性度リンパ腫	吉田彌太郎	血液疾患診療ハンドブック-診療の手引きと臨床データ集 改訂版	南江堂	東京	2009	363-386
満間綾子 木下朝博	中悪性度非ホジキンリンパ腫	直江知樹	現場で役立つ血液腫瘍治療プロトコール集	医薬ジャーナル社	大阪	2009	114-122
木下朝博	濾胞性リンパ腫の治療成績はリツキシマブ時代になって向上しているか?	金倉讓 木崎昌弘 鈴木律朗 神田善伸	EBM 血液疾患の治療	中外医学社	東京	2009	283-288
木下朝博	非ホジキンリンパ腫	山口徹 北原光夫 福井次矢	今日の治療方針 私はこう治療している	医学書院	東京	2009	555-557
木下朝博	非ホジキンリンパ腫	日本臨床腫瘍学会	新臨床腫瘍学	南江堂	東京	2009	719-730
木下朝博	予後予測因子と予後予測モデル	木下朝博 飛内賢正 堀田知光	悪性リンパ腫治療マニュアル	南江堂	東京	2009	69-72
木下朝博	抗体療法の実際 Rituximab	木下朝博 飛内賢正 堀田知光	悪性リンパ腫治療マニュアル	南江堂	東京	2009	103-107
木下朝博	限局期中悪性度リンパ腫	木下朝博 飛内賢正 堀田知光	悪性リンパ腫治療マニュアル	南江堂	東京	2009	157-160
畑裕之	MGUS	中村榮男ら	WHO血液腫瘍分類	医薬ジャーナル社	大阪	2010	306-322

畑裕之	α 鎖病	中村栄男ら	WHO血液腫瘍分類	医薬ジャーナル社	大阪	2010	294-297
畑裕之	多発性骨髄腫臨床病期の判定と予後	日本血液学会・日本リンパ網内系学会	造血器腫瘍取扱規約	金原出版	東京	2010	179-183
木村晋也 黒田純也	Imatinib mesylateによるCMLの治療	阿部達生	造血器腫瘍アトラス. 形態、免疫、染色体と遺伝子 (改訂第4版)	日本医事新報社	東京	2009	476-480
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	再生不良貧血 [Aplastic Anemia] 血液・造血器疾患.	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	298-301
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	腎性貧血 [Renal Anemia] 血液・造血器疾患.	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	302-304
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	播種性血管内凝固症候群 DIC [Disseminated Intravascular Coagulation] 血液・造血器疾患.	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	305-307
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	血友病 [Hemophilia] 血液・造血器疾患	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	308-311
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	静脈血栓・塞栓症 [Venous Thrombosis・Embolism] 血液・造血器疾患.	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	312-314
黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	紫斑病 [Purpura] 血液・造血器疾患.	齋藤康	わかりやすい疾患と処方薬の解説2009	アークメディア	東京	2009	315-317



黒田純也 谷脇雅史 吉川敏一 森本泰子 徳山尚吾	汎血球減少症 [Pancytopenia] 血液・造血器疾 患.	齋藤康	わかりやすい 疾患と処方薬 の解説2009	アークメデ ィア	東京	2009	318-319
--------------------------------------	---	-----	-----------------------------	-------------	----	------	---------

## 2010年

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の 編集者名	書 籍 名	出版社名	出版地	出版年	ページ
飯田真介 稲垣淳	8. 重鎖病(H鎖病) 9. 形質細胞腫瘍 9e. 単クローン性 免疫グロブリン沈 着病 9b. 形質細胞骨髄 腫；多発性骨髄腫	中村栄男、 飯田真介、他	WHO血液腫瘍分 類～WHO分類20 08をうまく活 用するために ～リンパ系腫 瘍	医薬ジャ ーナル社	東京/大阪	2010	293, 305, 331, 310-322
飯田真介	第4部多発性骨髄腫 (飯田真介 編) 5.2. 国際骨髄腫作 業部会統一効果判 定規準(Internatio nal Myeloma Worki ng Group uniform response criteri a; IMWG)の効果判 定規準	日本血液学 会、日本リン パ網内系学 会	造血器腫瘍 取り扱い規約	金原出版	東京	2010	192-196
飯田真介	4. その他の疾患に おけるレナリドミ ド	小澤敬也、 堀田知光	IMiDs (免疫調 節薬)の基礎と 臨床	医薬ジャ ーナル社	東京/大阪	2010	113-122
矢野寛樹 飯田真介	2) 小分子物質 ⑥ボルテゾミブ	西條長宏	インフォーム ドコンセント のための図説 シリーズ 抗 悪性腫瘍薬 分子標的治療 薬	医薬ジャ ーナル社	東京/大阪	2010	92-97
飯田真介	III. 多発性骨髄腫 序～多発性骨髄 腫の新規治療薬開 発	黒川峰夫、 堀田知光、 飯田真介、 大屋敷一馬	世界と日本の 動向～ 血液 フロンティア 別冊：血液疾患 における分子 標的治療 ド ラッグラグ解 消に向けて	医薬ジャ ーナル社	東京/大阪	2010	190-194

李政樹 飯田真介	分子標的治療開 発・臨床評価	西尾和人、 西條長宏	Bortezomib / Carfilzomib/ Educolomab/ Epigallocatec hin / Tamibar otene / Treti noin がんの 分子標的と治 療薬事典	羊土社	東京	2010	260-261 265-266 277-278 320-321 327
矢野寛樹 飯田真介	VI. 造血器がん C. 骨髄腫 2. 造血 幹細胞移植非対象 例または移植拒否 例	西條長宏	EBM がん化学 療法・分子標 的治療法	中外医学 社	東京	2010	532-536
木下朝博	濾胞性リンパ腫の 治療	鈴木律朗 伊豆津宏二 山口素子	悪性リンパ腫	中外医学 社	東京	2010	50-63
木下朝博	Burkitt リンパ腫 (BL)	新津 望	悪性リンパ腫 — 診療ハンド ブック	南江堂	東京	2010	128-129 134-137
木下朝博 満間綾子	びまん性大細胞型 B 細胞リンパ腫	直江知樹 小澤敬也 中尾眞二	血液疾患最新 の治療 2011 - 2013	南江堂	東京	2010	195-198
木下朝博	胃 MALT (mucosa-assos iated lymphoid tissue) リンパ腫に 対する Helicobacter pylori 除菌のエビデ ンス. 奏効例のエビデ ンスと抵抗例の治療は ?	大津敦 古瀬純司 中川和彦 徳田裕 南博信 畠清彦 田村和夫	EBM-がん化学 療法・分子標的 治療法	中外医学 社	東京	2010	503-506
木下朝博	悪性リンパ腫	松田暉 荻原俊男 難波光義 鈴木久美 林直子	疾病と治療 II	南江堂	東京	2010	271-275
木下朝博	末梢性 T 細胞リン パ腫、非特定型	押味和夫	悪性リンパ腫 の基礎と臨床 改訂版	医薬ジャ ーナル社	大阪	2011	450-460
畑 裕之	MGUS	直江知樹	WHO 血液腫瘍 分類	医薬ジャ ーナル社	東京	2010	306-322

畑 裕之	α 鎖病	直江知樹	WHO血液腫瘍分類	医薬ジャーナル社	東京	2010	294-297
畑 裕之	多発性骨髄腫臨床病期の判定と予後	日本血液学会 / 日本リンパ網内系学会	造血器腫瘍取扱規約	金原出版	東京	2010	179-183
畑 裕之	多発性骨髄腫に対する初期治療における新規治療薬の位置づけは？	金倉 譲	EBM血液疾患の治療2010-2011	中外医学社	東京	2010	372-378
畑 裕之	サリドマイド	渡辺 毅	治療	南山堂	東京	2010	2768-2771

## 2011年

著者氏名	論文タイトル名	書籍全体の編集者名	書籍名	出版社名	出版地	出版年	ページ
矢野寛樹 飯田真介	26. マクログロブリン血症	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	東京	2011	322-326
飯田真介 矢野寛樹	27. 多発性骨髄腫血液専門医テキスト	日本血液学会	血液専門医テキスト	南江堂	東京	2011	327-335
稲垣淳、 飯田真介	7. 多発性骨髄腫および類縁疾患 4. 移植非適応高齢者多発性骨髄腫の治療	木崎昌弘	白血病 リンパ腫 骨髄腫 今日の診断と治療 第4版	中外医学社	東京	2011	485-496
矢野寛樹 飯田真介	VII. 多発性骨髄腫	直江知樹	現場で役立つ血液腫瘍治療プロトコール集 改訂版	医薬ジャーナル社	大阪	2011	164-179
飯田真介	10. 血液疾患 多発性骨髄腫	山口徹、北原光夫、福井次矢	今日の治療指針 Today's Therapy 2012	医学書院	東京	2012	591-593
島田和之 木下朝博	血管内大細胞型B細胞リンパ腫の治療	木崎昌弘	白血病 リンパ腫 骨髄腫 今日の診断と治療 第4版	中外医学社	東京	2011	413-418

満間綾子 木下朝博	中悪性非ホジキン リンパ腫	直江知樹	現場で役立つ 血液腫瘍治療 プロトコール 集	医薬ジャーナル社	東京	2011	124-135
木下朝博	悪性リンパ腫	日本在宅医 療学会	医師・看護師・ 薬剤師のため の外来化学濾 法実践セミナー in 名古屋20 11	癌と化学 療法社	東京	2011	10-18
木下朝博	抗CD30抗体による ホジキンリンパ腫 と未分化大細胞型 リンパ腫の治療	高久史麿 小澤敬也 坂田洋一 金倉 謙 小島勢二	Annual Review 血液2012	中外医学 社1	東京	2011	159-163
黒田純也	慢性骨髄性白血病 に対するチロシン キナーゼ阻害剤治 療-知っておきたい 基礎知識	前川 平	BLOOD MASTER Vol.8 「慢性骨 髄性白血病」	大日本住 友製薬	京都	2011	3-21

## 雑誌 (英文)

2009年

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Suzuki T, Imai K, Imai E, Iida S, Ueda R, Tsumoto H, Nakagawa H, Miyata N.	Design, synthesis, enzyme inhibition, and tumor cell growth inhibition of 2-anilinobezamide derivatives as SIRT1 inhibitors.	Bioorganic & Med Chem	17	5900-5905	2009
Ito A, Ishida T, Utsunomiya A, Sato F, Mori F, Yano H, Inagaki A, Suzuki S, Takino H, Ri M, Kusumoto S, Komatsu H, Iida S, Inagaki H, Ueda R.	Defucosylated anti-CCR4 monoclonal antibody exerts potent ADCC against primary ATLL cells mediated by autologous human immune cells in NOD/Shi-scid, IL-2R $\gamma$ null mice in vivo.	J Immunol,	183	4782-4791	2009
Kodama T, Abe M, Iida S, Ozaki S, Sakai A, Sawamura M, Shimazaki C, Miyata A, Wakiyama T, Murakami H.	A pharmacokinetic study evaluating the relationship between treatment efficacy and incidence of adverse events with thalidomide plasma concentration in patients with refractory multiple myeloma.	Clin Lymphoma Myeloma	9	154-159	2009

Sakamaki H, Ishizawa K, Taniwaki M, Fujisawa S, Morishima Y, Tobinai K, Okada M, Ando K, Usui N, Miyawaki S, Utsunomiya A, Uoshima N, Nagai T, Naoe T, Motoji T, Jinnai I, Tanimoto M, Miyazaki Y, Ohnishi K, <u>Iida S</u> , Okamoto S, Seriu T, Ohno R.	Phase 1/2 clinical study of dasatinib in Japanese patients with chronic myeloid leukemia or Philadelphia chromosome-positive acute lymphoblastic leukemia.	Int J Hematol	89	332-341	2009
Ding J, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Yano H, Kusumoto S, Inagaki A, Ri M, Ito A, Wakita A, Ishida T, Nitta M, Ueda R.	The Asn505 mutation of c-MPL gene, which causes familial essential thrombocythemia, induces autonomous homodimerization of the c-MPL protein due to strong amino acid polarity.	Blood	114	3325-3328	2009
Inagaki A, Ishida T, Yano H, Ishii T, Kusumoto S, Ito A, Ding J, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Ueda R.	Expression of the ULBP1 ligands for NKG2D by B-NHL cells plays an important role in determining their sensitivity to rituximab-induced ADCC.	Int J Cancer	125	212-221	2009
Ito A, Ishida T, Yano H, Inagaki A, Suzuki S, Sato F, Takino H, Mori F, Ri M, Kusumoto S, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Inagaki H, Ueda R.	Defucosylated anti-CCR4 monoclonal antibody exerted potent ADCC-mediated antitumor effect in the novel tumor-bearing humanized NOD/Shi-scid, IL2Rgnull mouse model.	Cancer Immunol & Immunotherapy	58	1195-1206	2009
Ri M, <u>Iida S</u> , Ishida T, Ito M, Yano H, Inagaki A, Ding J, Kusumoto S, Komatsu H, Utsunomiya A, Ueda R.	Bortezomib-induced apoptosis in mature T-cell lymphoma cells partially depends on up-regulation of Noxa and functional repression of Mcl-1.	Cancer Science	100	341-348	2009
Yamaguchi M, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Phase I/II study of concurrent chemoradiotherapy for localized nasal natural killer/T-cell lymphoma	J Clin Oncol	27	5594-5600	2009

Sugimoto T, <u>Kinoshita T</u> , et al.,	Escape mechanisms from antibody therapy to lymphoma cells: downregulation of CD20 mRNA by recruitment of the HDAC complex and not by DNA methylation	Biochem Biophys Res Commun	390	48-53	2009
Shimada K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Presentation and management of intravascular large B-cell lymphoma	Lancet Oncol	10	895-902	2009
Hiraga J, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Down-regulation of CD20 expression in B-cell lymphoma cells after treatment with rituximab-containing combination chemotherapies: its prevalence and clinical significance	Blood	113	4885-4893	2009
Hagiwara K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Aberrant DNA methylation of the p57KIP2 gene is a sensitive biomarker for detecting minimal residual disease in diffuse large B cell lymphoma	Leuk Res	34	50-54	2010
Asano N, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Age-related Epstein-Barr virus (EBV)-associated B-cell lymphoproliferative disorders: comparison with EBV-positive classic Hodgkin lymphoma in elderly patients	Blood	113	2629-2636	2009
Inamoto Y, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Combinations of cytogenetics and international scoring system can predict poor prognosis in multiple myeloma after high-dose chemotherapy and autologous stem cell transplantation	Am J Hematol	84	283-286	2009
Hata H, Nishi K, Oshihara W, Arai J, Sshimizu K, Kawakita T, Nakamura M, Mitsuya H.	Adsorption of Bence-Jones protein to polymethylmethacrylate membrane in primary amyloidosis.	Amyloid	16	Amyloid	2009

Uchiba M, Imamura T, Hata H, Tatetsu H, Yonemura Y, Ueda M, Wada Y, Mitsuya H, Ando Y.	Excessive fibrinolysis in AL-amyloidosis is induced by urokinase-type plasminogen activator from bone marrow plasma cells	Amyloid	16	89-93	2009
Ueno S, Tatetsu H, Hata H, Iino T, Niirono H, Akashi K, Tenen DG, Mitsuya H, Okuno Y.	PU.1 induces apoptosis in myeloma cells through direct transactivation of TRAIL.	Oncogene	28	4116-4125	2009
Kodama T, Abe M, Iida S, Ozaki S, Sakai A, Sawamura M, Shimazaki C, Miyata A, Wakayama T, Murakami H.	A pharmacokinetic study evaluating the relationship between treatment efficacy and incidence of adverse events with thalidomide plasma concentrations in patients with refractory multiple myeloma.	Clin Lymphoma Myeloma	9(2)	154-159	2009
Murakami H, Shimizu K, Sawamura M, Suzuki K, Sugiura I, Kosugi H, Shimazaki C, Taniwaki M, Abe M, Takagi T.	Phase II and pharmacokinetic study of thalidomide in Japanese patients with relapsed/refractory multiple myeloma.	Int J Hematol	89(5)	636-641	2009
Mastumoto Y, Kuroda J, et al	Expression of master regulators of helper T-cell differentiation in peripheral T-cell lymphoma, not otherwise specified, by immunohistochemical analysis.	Am J Clin Pathol	133	281-290	2010
Kuroda J, Taniwaki M	Life and death of leukemic cells under Bcr-Abl signaling control.	Current Cancer Therapy Reviews	505	303-309	2009
Taniguchi K, Kuroda J, et al.	Tocilizumab is effective for pulmonary hypertension associated with multicentric Castleman's disease.	Int J Hematol	90	99-102	2009
Ashihara E, Kuroda J, et al.	$\beta$ -catenin siRNA successfully suppressed progression of multiple myeloma in a mouse model.	Clin Cancer Res	15	2731-2738	2009

Matsumoto Y, <u>Kuroda J</u> , et al.	Early Ultrasonographic Diagnosis and Clinical Follow-up of Hepatic Veno-Occlusive Disease after Allogeneic Bone Marrow Transplantation in a Patient with Acute Lymphoblastic Leukemia.	Intern Med	48	831-835	2009
---------------------------------------	--	------------	----	---------	------

## 2010年

発表者氏名	論文タイトル名	発表誌名	巻号	ページ	出版年
Yoshida T, Kusumoto S, Inagaki A, Mori F, Ito A, Ishida T, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Sugauchi F, Tanaka Y, Mizokami M, Ueda R.	Reactivation of hepatitis B virus in HBsAg-negative patients with multiple myeloma: two case reports.	Int J Hematol	91	844-849	2010
Ishii T, Ishida T, Utsunomiya A, Inagaki A, Yano H, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Imada K, Uchiyama T, Akinaga S, Shitara K, Ueda R.	Defucosylated humanized anti-CCR4 monoclonal antibody KW-0761 as a novel immunotherapeutic agent for adult T-cell leukemia/lymphoma (ATLL).	Clin Cancer Res	16	1520-1531	2010
<u>Iida S</u> , Chou T, Okamoto S, Nagai H, Hatake H, <u>Murakami H</u> , Takagi T, Shimizu K, Lau H, Takeshita K, Takatoku M, Hotta T.	Lenalidomide plus dexamethasone treatment in Japanese patients with relapsed/refractory multiple myeloma.	Int J Hematol	92	118-126 Erratum 127-128	2010
Ri M, <u>Iida S</u> , Nakashima T, Miyazaki H, Mori F, Ito A, Inagaki A, Kusumoto S, Ishida T, Komatsu H, Shiotsu Y, Ueda R.	Bortezomib-resistant myeloma cell lines: A role for mutated PSMB5 in preventing the accumulation of unfolded proteins and fatal ER stress.	Leukemia	24	1506-1512	2010
Sato F, Ito A, Ishida T, Mori F, Takino H, Inagaki A, Ri M, Kusumoto S, Komatsu H, <u>Iida S</u> , Okada N, Ueda R.	A complement-dependent cytotoxicity-enhancing anti-CD20 antibody mediating potent antitumor activity in the humanized NOD/Shi-scid, IL2Rgnull mouse lymphoma model.	Cancer Immunol Immunother	59	1791-1800	2010



Watanabe T, Nagase K, Chosa M, Tobinai K.	Schwann cell autophagy induced by SAHA, 17-AAG, or clonazepam can reduce bortezomib-induced peripheral neuropathy.	Br J Cancer	103	1580-1587	2010
Tamura D, Arao T, Tanaka K, Kaneda H, Matsumoto K, Kudo K, Aomatsu K, Fujita Y, Watanabe T, Saijo N, Kotani Y, Nishimura Y, Nishio K.	Bortezomib potentially inhibits cellular growth of vascular endothelial cells through suppression of G2/M transition.	Cancer Sci	101	1403-1408	2010
Moriuchi M, Ohmachi K, Kojima M, et al.	Three cases of bortezomib-resistant multiple myeloma with extramedullary masses.	Tokai Journal of Experimental and Clinical Medicine.	35	17-20	2010
Ohmachi K, Ando K, Ogura M, et al.	Multicenter phase II study of bendamustine for relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Cancer Sci.	29	2059-64	2010
Ogura M, Uchida T, Taniwaki M, Ando K, Ohmachi K, et al.	Phase I and pharmacokinetic study of bendamustine hydrochloride in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma and mantle cell lymphoma.	Cancer Sci.	27	2054-8	2010
Nagai H, Kinoshita T, et al.	Cladribine combined with rituximab (R-2-CdA) therapy is an effective salvage therapy in relapsed or refractory indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma.	Eur J Haematol.	86	117-123	2011
Watanabe T, Kinoshita T, et al.	Pretreatment total serum protein is a significant prognostic factor for the outcome of patients with peripheral T/natural killer-cell lymphomas.	Leuk Lymphoma	51	813-821	2010

Tobinai K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Randomized phase II study of concurrent and sequential combinations of rituximab plus CHOP (cyclophosphamide, doxorubicin, vincristine and prednisolone) chemotherapy in untreated indolent B-cell non-Hodgkin lymphoma: 7-year follow-up results.	Cancer Sci.	101	2579-2585	2010
Suzuki R, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Prognostic factors for mature natural killer (NK) cell neoplasms: aggressive NK cell leukemia and extranodal NK cell lymphoma, nasal type.	Ann Oncol.	21	1032-1040	2010
Shimada K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Central nervous system involvement in intravascular large B-cell lymphoma: a retrospective analysis of 109 patients.	Cancer Sci.	101	1480-1486	2010
Ogura M, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Phase II study of ABVD therapy for newly diagnosed clinical stage II-IV Hodgkin lymphoma: Japan Clinical Oncology Group study (JCOG 9305).	Int J Hematol.	92	713-724	2010
Itoh K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Prognostic analysis and a new risk model for Hodgkin lymphoma in Japan.	Int J Hematol.	91	446-455	2010
Hagiwara K, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Aberrant DNA methylation of the p57KIP2 gene is a sensitive biomarker for detecting minimal residual disease in diffuse large B cell lymphoma.	Leuk Res.	34	50-54	2010

Ennishi D, <u>Kinoshita T</u> , et al.	Hepatic toxicity and prognosis in HCV-infected patients with diffuse large B-cell lymphoma treated with rituximab-containing chemotherapy regimens: a Japanese multicenter analysis.	Blood	116	5119-5125	2010
Shimazaki C, <u>Murakami H</u> , Sawamura M, <u>Matsuda M</u> , <u>Kinoshita T</u> , <u>Hata H</u> , Sugiura I, Tsushita K, Nagura E, Kosugi H, Itoh J, Shimizu K.	Clinical usefulness of serum free light chain measurement in monoclonal gammopathy.	Rinsho Ketsueki	51	245-252	2010
Kawano Y, Nakama T, <u>Hata H</u> , Kimura E, Maruyoshi N, Uchino M, Mitsuya H.	Successful Therapy with Rituximab and Thalidomide of POEMS Syndrome Associated with Waldenstrom Macroglobulinemia	Journal of the Neurological Sciences	297	101-104	2010
Nakamura M, Kikukawa Y, Takeya M, Mitsuya H, <u>Hata H</u> .	Clarithromycin attenuates autophagy in myeloma cells.	Int J Oncol	37	815-820	2010
Mizutani S, <u>Kuroda J</u> , et al.	Cyclosporine A for chemotherapy-resistant subcutaneous panniculitis-like T cell lymphoma with hemophagocytic syndrome.	Acta Haematologica		In press	
Kobayashi S, <u>Kuroda J</u> , et al.	Identification of IGHCd-BACH2 fusion transcripts resulting from cryptic chromosomal rearrangements of 14q32 with 6q15 in aggressive B-cell lymphoma/leukemia.	Gene Chromosome Canc,	50	207-216	2011
Jin L, <u>Kuroda J</u> , et al.	Antiproliferative and proapoptotic activity of GUT-70 mediated through potent inhibition of Hsp90 in mantle cell lymphoma.	Br J Cancer	104	91-100	2011

Kobayashi T, <u>Kuroda J</u> , et al.	Bortezomib plus dexamethasone for relapsed or treatment refractory multiple myeloma: the collaborative study at six institutes in Kyoto and Osaka.	Int J Hematol	92	579-586	2010
<u>Kuroda J</u> , Kobayashi T, et al.	Bortezomib for post-allogeneic hematopoietic stem transplantation relapse and GVHD in multiple myeloma: a Single Institute Experience.	Int J Hematol	92	669-672	2010
<u>Kuroda J</u> , Yamamoto M, et al.	Targeting ATF-3 by Galectin-9 induces apoptosis and overcomes various types of treatment resistance in chronic myelogenous leukemia.	Mol Cancer Res	8	994-1001	2010
Kobayashi T, <u>Kuroda J</u> , et al.	Galectin-9 exhibits anti-myeloma activity through JNK and p38 MAP kinase pathways.	Leukemia	24	843-850	2010
Mizutani S, <u>Kuroda J</u> , et al.	Emergence of chronic myelogenous leukemia during treatment for essential thrombocythemia.	Int J Hematol	91	516-521	2010
Takeuchi M, <u>Kuroda J</u> , et al.	Glyoxalase-I is a novel target against Bcr-Abl <sup>+</sup> leukemic cells acquiring stem-like characteristics in hypoxic environment.	Cell Death Differ	17	1221-1220	2010
Yamamoto M, <u>Kuroda J</u> , et al.	Allogeneic bone marrow transplantation with fludarabine/busulfan16 conditioning regimen and dasatinib maintenance therapy for elderly Philadelphia-positive acute/advanced leukemia patients.	Leukemia Res	34	e-111-112	2010